

1 日 時 平成22年6月28日（月）午後2時～4時

2 場 所 府中市役所北庁舎3階 第3会議室

3 出席者（敬称略）

（1）委員13名

加藤 佑子、西勝 義恵、坂本 明美、設楽 厚子、芝 喜久子、白井 紀子、
鈴木 映子、寺谷 弘壬、野本 京子、平形 芳郎、比留間 一磨、三宅 昭、
山内 啓司

※澤井委員、奈良委員は欠席。

（2）職員4名

齋田文化スポーツ部長、澁谷生涯学習スポーツ課長
市ノ川企画係長、大木

※山村生涯学習スポーツ課生涯学習推進担当副主幹は欠席。

4 開 会

・部長より挨拶（割愛）

5 連絡・報告事項

（1）配布資料の確認

（2）前回議事録の確認

（3）東京都市社会教育委員連絡協議会 第5ブロック研修会の日程について
平成22年10月2日（土）

6 協議事項

（1）最終答申の内容検討について

以下のとおり意見交換が行われた。

[意見の趣旨] ■：委員 ➡：事務局

- 最終答申の内容検討について、その前に今後の予定の計画を一緒に考えていただけたらと思う。教育長へ答申提出を3月に予定させていただくことを逆算しますと、小委員会は、2～3ヵ月前にとっていきたいと思う。その前にお休みさせていただきたい月があり、8月、10月はかなり他の用事が入ってくるので、（第5ブロック研修会・社教委員の全国大会）8月、10月をお休みさせていただきたいが、よろしいか。

審議の進み具合によって、あまり思わしくない場合は、10月に開催は有り得ると思う。6、7月は審議し、8月はお休みをさせて頂き、9月にまたその最終答申について確認させて頂きたいと思う。

そして、11月に入ってから、小委員会というかたちを考えさせて頂き、小委員会を1、2ヶ月取っていききたいと思う。そして、1、2月と審議していききたいと思うので、ご協力をお願い致したい。

■ 計画では、12月の審議は無しか。

■ 12月は、小委員会が検討していく事になるので、小委員会に流れた方は忙しいかもしれない。多少、変更があるかもしれないが、一応大まかな計画ということでお願いしたい。

それでは、答申の内容検討に入るが、皆様のところに第二次生涯学習推進計画はあるか。そこにある、重点施策というものが3つある。その重点施策の1、2、3に関して、重点的にみなさんのご意見を頂きたいと思う。この間、皆さんで出しました、中間答申の「終わりに」という部分だが、次年度当審議会での、討議ではより具体的な見解を検討し、また推進計画に基づく生涯学習のあり方や方向について、指定管理者制度導入の件は、この間皆様に重点的にやって頂いた。ただこれからは、具体的な展開を検討するという部分でその視点で考えて頂けたらと思う。

まずは、ワークショップの充実・生涯学習サポート・ファシリテーターの育成活用という部分だが、3つを通して一つずつというよりも、いろいろ考えがあれば、お話しいただきたい。

■ 一番具体的というか、難しいところ。あまり具体的な部分にとらわれていると、発言出来ない部分も出てくるかと思う。気軽をお願いしたいと思う。一番皆さんの感じていることは、地域の生涯学習の担い手、ファシリテーターの育成活用と部分ではないかと思うが。

■ 協議会の方で、青年委員会というものがあるが、それに参加して思うのが、過去に露店をしたり、ミニゲームをしたり、そういう人達が集まって、すごく良い組織だと思う。文化センターのコミュニティー協議会では、趣味とか、老人会、わりと根底とした世話人会とコミ協が合体して何か出来ないのか。生涯学習とか学習面については、真剣にやっていないが、難しいところがあって、わざわざ学習センターに行かない。

企業でやっているNHKとか朝日カルチャーセンターとか企業でやっているようなところでは、みんな仕上がっていくが、やはり文化センターで昔みたいにやったら活気づくのかなと思う。

■ 地域の掘り起こしのような。コミュニティー協議会で関わっている方はいるか。

- 地域からあまり出ていかない。文化センターを中心にして、いろんな活動ができるように動きやすいように、狭い地域内だけで活動している。
- コミュニティー協議会は具体的には、どのように活動しているのか。
- コミ協は地域の人達が文化センターを中心にして、いろんな活動ができるように、活動しやすいように、過ごしやすいように、お楽しみ会や盆踊りなどをしている。
- ➔ コミ協は、文化センターを中心に作られていて、自治会や文化センターで活動している自主グループ、消防団、青年会、ボランティアなどが文化センターで活動している協議会。

主な活動は、文化センターの事業を受託して活動しており、文化センター圏域の子供達の交流または、文化センター圏域のみなさんの交流をはかる目的で、いろいろな事業をしている。コミ協については、各文化センター中心というかたちなので、なかなか文化センター圏域を出て活動するという事は、あまり無い。

文化センターごとに異なる特色がある。例えば、新町だと自治会が100以上ある。新町文化センターのコミ協は、自治会の数が多くて規模も小さいので、なかなか自治会が主体とはならず、新町文化センターに関わっている団体等が活動している。他のある文化センター圏域の中には自治会が数個しかないが、自治会の規模も大きく、自治会を中心にやっていくところもあるなど、文化センターによっては、いろいろな特色や考え方がある。基本的には、文化センターの圏域の交流を図ることを主にしていく点は共通である。

- コミュニティー協議会という組織になっているようです。
- 今伺った限り、コミュニティー協議会の一部の人、または大部分の人が、ファシリテーターの資格と言うか、そういう資質を持っているのではないか。
- 女性センターでは、150団体がありまして、その中で登録団体協議会を作った。協議会の中でも中身によっては、パソコンのグループ・福祉の勉強のグループ、いろんな団体のグループの代表を出しながら、その中で調整できるような、推進できるようなファシリテーター的な役目を作ってきた段階がある。

それを府中市全体の生涯学習という分野で、ファシリテーターの窓口を作っていくと言うのが地方都市の理想で、どういように組織を作っていくか考えている。文化センターの動きと少し違う様な気がする。融合するところが難しいと思う。

- いろんな考えもあるので、どんどん出して頂いて、最終的にまとめていきたいと思う。ただ文化センターの自主グループが文化センターに沢山あるが、自主グループ連絡会というのもあると思うが、活用しようと思う部分があるのかもしれない。
- 少し、飛躍するかもしれないが、府中市で生涯学習ファシリテーターの指導を任命するあるいは、選出することになった時の為だが、この審議会あるいは別の審議

会になるかもしれないが、生涯学習ファシリテーターのある程度の理想的な展開として、実際ファシリテーター的の役割の人達の足並みを揃える為の講習会を府中市でやるということが、意味があると思う。府中市の生涯学習ファシリテーターになった時は、最低グループで出来ない、知っていないといけないと思う。

私が考えているのは、実は、私が府中市に来て30年になるが、府中市民になっても案外府中の事を知らない。日本人は、あまり自分が住んでいる所を自慢したがらないけど、外国に行って、特に感じるのは、自分の住んでいる所を聞かれると何も知らなかった。せめて府中市の事を大抵の事を知っておいた方がいいと思う。

- 各文化センターの組織表を取り寄せて比較すると、地域の特徴が分かるのでは中央文化センターは、一番大きく、人口も多い。私がやっていたころは、スポーツ部会があった。あれは、全部センターあるか。無いセンターもあると思う。
- ➡ 基本的に市から委託されて事業をしているので、スポーツ分野に関しては、スポーツ関係の委託があるので、それに合わせて、文化センターのコミ協で部会を作って頂くかたちになると思うが、スポーツ部会にも様々な事業があるが、地域の特性が出る部分がある。
- コミュニティー協議会が市内で文化センターを中心にいくつもあるのか。11文化センターに11のコミュニティー協議会があって構成メンバーが共通している部分があるとしても、そのこの地区によって違いがある。地方からの助成金が活動に関わってもそれぞれのコミュニティーである特色がある。その交流活動というか、子供達が参加する活動の状況によって実際に違ってくると思うが、全体の構成メンバーとか主な活動とか、どの程度忙しくしているのとか、簡単にいうとどの程度あるのか。そういう中で、今も四谷みたいな行事をどこでもやれるわけではないから、市として共通にして、こういう事業みたいのものは、広がっていった方がいいのではないかと思えることがあったら、それを繋ぐとか、どこかでやっていくのかが大事な事だし情報交換も、もちろんそうだが、その為の土台になる資料とか11のコミ協の会長さんを含めて、人数とかその辺りのデータとか資料としてあると良いと思う。
- ➡ ある程度、資料として出ているデータがある。
- 一応、参考のため、いただけるか。
- 例えばイメージがなかなか分かりにくいし、どういう事をしているのかとか、活動の状況をいろいろ見せてもらった中で、それこそサポートとか相談活動とか、生涯学習センターと直に繋ぐとか、そういったところの土台を資料としてあったほうがいい。

- 生涯学習センターの活動がさらに活発化し、あるいは活動の幅を広げられる要素のひとつに、おそらく今ルミエールや各文化センターを会場に活動していく、自主グループの活動があると思う。ところが、私が知っている限りでは、自主グループは1400団体以上ある。外国語の学習グループの中の3団体は、お互いに連絡を取り合わないというか、犬猿の仲のような。おそらく代表を団結させるような、講習会というか、活動を生涯学習センターで出来るのではないか。
- ➡ 全部が全部は無理ではないか。仲違いするかもしれない。
- 自主活動をやっている人達の中にも、ファシリテーターとして非常に優れた能力を持っている人達もいらっしゃるかもしれない。そういうのも全部集めると、1400人あるいは、プラスアルファ2000人位集まると思う。それは、少し多すぎるので、市の方からある程度煮詰まったところで、ファシリテーター制度を導入する。ファシリテーターとして、この条件を満たしてほしいというかたちで話を持っていくやり方もあると思う。そしたら、各文化センターの活動と生涯学習センター活動が案外上手くリンクできると思う。
- ➡ 各文化センターで活動している自主グループと呼ばれる団体が800くらい、学習センターを中心活動している団体が400くらい、残りがスポーツで学校開放を利用している団体が200くらい、全体で1400くらいある。自主グループは、基本的に各文化センターを中心に活動している団体だが、おおもとは社会教育登録団体で社会教育活動をしている。
- 文化センターで自主グループをやっている方は、コミュニティー文化祭が年に一回あり、ルミエール府中で発表する。生涯学習センターのお祭りや融合するような何かが無駄かであれば、またお互いに交流が生まれたり、そこで大きくなれたり、一致するものやお互いに認識するものがでるのではないか。別個にお互いが、無関係でやっているような気がする。
- それをマネジメントするのがファシリテーターだと思うが、ファシリテーターを育成する講座を生涯学習センターが中心になって、一年間かけて講座をきちんとするのを考えていると思うが…。
- ➡ 今年度からやる。10月～1月まで、2種類の講座を3回目まで同じ内容で、そこから分かれてファシリテーター養成講座と生涯学習サポーターの養成講座の2コースがある。全13回で、毎週土曜日の午前中に実行していこうと思う。今年度から明治大学の連携講座を始めようと思っていて、その中の明治大学の社会教育の方に講師をお願いして、ご指導をいただこうと思っている。その先生とお話しした中では、ここでやったからすぐ出来るのではなく、やはり何年か必要なので、長いスパンで少しずつ育てていく様なかたちで講座を設けようと思うが、今年度最初

なのでこういった物が有効なのかということ、まだサンプルも出してない。今内容については、府中に特化した様な内容とそれとは別に教える技術だとか、まとめる技術とかそういったところも上手に入れながら、やろうと思っている。

- 今のところは、その申込みは、府中市民が対象か。
- ➔ 基本的には、そう考えているが、府中市民の方に来ていただいて、サポーター自体は、前のリーダーバンクのように現地に行って教えて頂く。
- 受講生は、予定何人くらいか。
- ➔ 一応、1コース30人くらい。実技を含めて。
- 文化連絡協議会というのがあるが、39団体ある。そのリーダーに是非ご案内させていただければ嬉しい。子供の絵画教室やお華の教室を団体でやっているが、意外と全体的な底編みが徹底していないので、周知してほしい。
- 30名の募集を始めているのか。
- ➔ まだ最後の詰めが。チラシもまだ出来てないし、もう少ししたら形として、お出し出来ると思う。
- ファシリテーター養成講座の申し込み資格はあるのか。
- ➔ 条件は、府中市民であることぐらいで、多分最初は付けないと思う。
- 小学生だってそうはいかないと思うが・・・。
- ➔ 常識的に成人とか。
- 特にそういう何か関わりがあってとか、経験があるとか、それなりに活動しているとか、そういう条件を付けることはないか。
- ➔ 今のところは、付ける予定はない。
- せめて、出席率の条件ぐらいは付けてほしい。
- 出席する可能性のある人に限るとか。
- ➔ 基本的には、長期間で8週続けてなので、全回参加出来る方。
- 土曜日の午前中だったか。
- ➔ 土曜日は、午後からみなさん出かける人が多いので、午前中がいいかと思った。最初は、平日でも良いかもしれないと思っていたが、平日だと年齢層が限られるのでサラリーマンやミドル世代を含めて来られるような時間帯にした。あと、夜というのもあったのが、来るときの危険もあったと思った。
- いち早く進めていただいてありがたい。
- スキルアップ講座は、自分達がそれだけでやっていこうとするのは結構難しい。講師の先生には、どういう人を呼ぼうとか、経験者の話も聞かないといけないし、学問的な話も聞かないといけない。
- 受講生30名が活かされることを願っている。

- ファシリテーター講習会というのは、たくさんいろいろな所でやっているが、それを受けたからといって、その方が何処をどうやって自分の中身を披露したり、活動出来る所があるかということ、現実にはそれが無い。ただ受けて、そういう事を解っているということだけであって、それを活躍させる場が無い。

今の形で考えると、ある目的を持って、例えばこういう団体が、ファシリテーターを必要としているので、こういう所が利用するためにその養成をするという形の方が望ましいような気がする。今、生涯学習スポーツ課では、体育館を利用する時にスポーツ指導員制度で、スポーツ指導員という方の養成をやって、各体育館に配置することをやっている。それと同じように生涯学習の方も逆にそういう目的を持って教育に入った方が良いのかなという事が考えられる。

私達もNPO法人としての、ファシリテーターとか、いわゆるリーダーの講習会をたくさん開くが、目的は市民活動をする上でのファシリテーターないしリーダー養成という事を目的にやっている。目的の内容によって多少中身が変わってくるので、そういう点では、目的をしっかりと見極めてから、講習会をやった方が効率的ではないか。

- さっき語学でも、3団体あって固まらないと言っていたが、音楽のファシリテーターになりたいという関係ない人が来たら、3つとも追い出される。私は、最初から頭にあったのは、表彰するとか、金銭を求めるものでもなく、どのように精神的・金銭的によくやってくれた人を称え、いろんな事をするのか、やった結果で満足いくような何かを作らないといけないような気がする。

- 組織化というのが、大事だと思う。社会教育主事というのが市の職員にいたが、府中市ではあの活用があまりされてきてなかったと思う。実際に知っているが、社会教育主事が、行政の方で少し先頭になって、それに付随するような社会教育指導員のような生涯学習の方をまとめて、企画をしたり、させたりするような人達がスポーツでいうと、体育指導員で、実際の実技指導をスポーツ指導員がやるのはどうか。

社会教育指導員は実際に、各文化センターに職員を派遣し、そこの講習会に出たい人で、適当な人を確保していこうとか、そういう組織的な構成をしていくような組織作りがいいと思う。最初は大変かもしれないが。

- 私も大学で社会教育主事という資格だけだが、何とか自分が生涯学習として、それを生かしたいという思いで、こういう所に入れていただいているが、主事は沢山いると思う。そういう方が、各コミュニティーに入り込んで一緒に何とか、生涯学習があくまでもメインなのでそこで、縦の列・横の列が一緒になって組織化してい

きたいとずっと思っていた。希望のようなものばかりで、具体的にどうするのかというところが本当に難しい。

- 社会教育主事は今大学に行って資格が取れるのか。今でもあるのか。
- ある。
- 大学に行って希望すれば、そういう主事の資格を取って卒業して、民間なり実社会に入ってきている状況はあるのか。メンバー的にずっと続いているわけではないのか。
- ➔ 基本的に社会教育主事という資格は、主事なる前の資格として卒業する。そして実務経験として社会教育関係を一年間やった上で、それからまた申請して初めて社会教育主事になれる。なれる資格のひとつ手前で卒業するもので、それを大学で取ってないと、結構なお金をかけて一ヶ月くらい研修に行かないといけない。
- 社会教育主事になると、どこかに登録するのか。
- ➔ 府中市の場合は、社会教育主事としての採用がない。一昨年までは、一人うちの課にいたが、今は居ない。
- かつて、社会教育主事はどういう仕事をしていたのか。
- 文化センターなどには、一人ずつ配置していたのではないか。
- 私が、公民館を担当している頃は、各文化センターにはり付いていたが、その他に私達みたいな、女性スタッフが文化センターで事業をしたりしていた。
- 結局、受け皿が無くなってきているという状況がひとつある。社会教育主事の人々が活動する、活躍できる受け皿が無くなってきているという状況がひとつあって、主事の方は、本当はいろいろな所で活動されているが、そういう人達が出ていく様な現場が見えない。そういう資格のある人達が、集まって何かやろうという事も、ファシリテーター講座のために、新しい生涯学習を推進する企画に参加してみませんか、資格を持っている人達が呼び掛けると活躍の場が出来るのではないか。

(10分間 休憩)

- 今、市の方からコミュニティーの記録という物が、配られていると思う。少し目を通していただきたい。内容は、先ほど大まかなこととお話いただいたので、家に戻ってしっかりと各文化センターでの、行事の沙汰とか色々出てくるかと思いますので、お目通しいただきたい。8ページにあります、圏域対象事業は全11文化センターでそれぞれ決まっているようですね。
- 例えば、スポーツ生活化推進事業の中で何人が各文化センターに委ねられている。運動会だとか、色んな体育館を借りて、ニュースポーツをしたりする。ただ、地域

まつりは全館共通になっているので日にちが違う。同じ様な事業が多いので、市内なので、何処々のコミ協が良かったという口コミがあることもある。

- 例えば、84ページの中央文化センターの役員名簿の理事は部会の代表なのか。
- ➔ いいえ。部会のメンバー。理事の中に例えば、スポーツ部会に入っている文化部会に入っているかと部会に入っている理事でも部会に入っていない人もいます。
- 随分少ないですね。
- 何名以内に組織するとかそういう物はないのですか。
- ➔ ないです。ただコミ協理事会の総会を開きますので、理事さんが多いとそれだけ大変になるのでやはり数は、抑えるようにしている。
- 文化センターに理事はこんなに居るのですね。
- これだけの大勢の方が実際に年に何回か集まって会議とかするのか。
- ➔ 理事会が年1回、総会が年1回。
- 各文化センター内ですね。
- ➔ そうです。
- 何回か会議を開いていますし、各大きな行事毎に、理事会を開いている。
- ➔ 目的に沿った会議を行うが、理事会とか総会は、年に1回です。
- みなさん、好きで理事会・役員になったりしていたかは分からないが、多かれ少なかれこの人達は、ファシリテーターの要素があるのか。
- そうとも限らないかなと。やはり行事の手伝いというか、運動会やるにしてもお祭りにするにしても、何するにしても、手が必要なので、そういう時の要員。そこで、常任理事だとか名前で地域の人の名前が沢山いるのは、確かですね。
- 運動会は、何処でやられるのですか。府中公園ですか。
- ➔ いいえ。各文化センターでやりまして学校でやったり、近くの公園を使ったり、各文化センターなどの近場でやるような。
- 文化センターの中に小さな図書館はあるのか。
- あります。中央文化センターだけは、隣に大きな図書館があるので、センター内にはない。
- 文化センターが府中全市をカバーしている様に、設置していると思うが、浅間町とかは空白地帯になっていて、近い所ですと、新町・紅葉丘どっちかになるが、浅間町は生涯学習センターもありますけど、性格が違いますから、地域内の人達の交流が促進できるように今後優先的に整備をして頂きたいと思う。
- どんと焼きをしている地域は、どこですか。
- 押立・四谷・白糸台です。

- どんと焼きは、神社に持って行かないといけないのでは。大国魂神社で焼いてもらうことになっているのでは。今は、焼く所がないので。大国魂神社で何日までに持って行ってということになっている。どんと焼きが残っている所もあるのですね。
- どんと焼きが残っている所は、押立だけ。白糸台はやってはいるが、小さめで四谷と押立が大きくやっていました。四谷が全部家になってしまって、大きいのが出来なくなった。
- 僕の地域は、柳田国男の地域で、どんと焼きについて書いているが、大人がああいうものを作って、子供が盗みに来る。取り戻してちゃんと燃やさないで、良くないということで、子供が取りに来るとき、お便所の水をかけたりして、攻防戦があったが、今は無い。餅を焼いたり、みんなで賑やかにやるだけ。
- 伝統文化行事ですね。
- ホタルを飼っている所もある。
- 最近ホタルを飼って放したと書いてあった。
- 環境市民の会が育てている。
- 先ほどの話に戻るが、文化活動にしても組織化するの難しいか。
- 私塾化しているというのが、そういう類の人を全部集めて、講師をして会費をそのまま月謝にしてしまうということが、結構ある。それで、講師を集めて自主的に活動させてほしいとお願いしている。しかし今は、そのような事は、やってないので、一応会費がそのまま先生に行くようなシステムになっている。全体的にまとめていくようにしていくのが良いと思う。
- ➔ 地区公民館事業とこの中に書いてあるが、実態としては、公民館活動というよりは、映画会のようになってしまうているが、本当は、もう少し社会教育指導員のような人が練って、企画整理するのは、なかなかセンターとしても難しいかもしれない。
- 住吉文化センターで映画のボランティアで行くが、映画を借りてくるのは行政の方で、映すのは私達のサークルでやる。白糸台もそうですし、自主派遣という形で。2つしかしていない。西府にも行ったが、予算化していないと断られた。ボランティアで活動している人が一杯居るのだから、それを上手く利用するのが、良いと思います。他にないから中断してしまう。小学校にもこういうことができると申請しているが、一回も依頼がこない。組織化されていないのが、いけないのかな。
- 社会教育指導員。スポーツ指導員のようなかたちで、社会教育指導員を組織化したらどうかということだが…。

- 講座を開いて、来てちょっと単位を取ったら、指導資格をあげるとか。スポーツ指導員は、確かに論文を書いて、それを採用されると指導員になれる。講座を受けて、自分は、こうしたいのかを論文を書いて社会教育指導員の資格を与える。
- そういう新しいかたちということですよ。
- なるほどと思ったのですが、文化センターのコミ協の中には、スポーツ指導員がいらっしゃる。そういう中に、一人でもそういうかたちの人が居れば、公民館講座も出来たりとかが可能なのかなと。
- ➡ 今お配りしているのは各地の社会教育指導委員と社会教育主事の配置です。区部の方に非常に社会教員指導員を多く採用して、指導主事が少ない。26市ですと武蔵野・三鷹・昭島・調布・武蔵村山・西東京がいずれも採用している。
- いずれにしても、府中で考えておられるのは、ファシリテーターの給料を払うつもりはないのでしょ。
- ➡ 何とも言えない。
- 例えば、社会教育指導員なり、そういう資格を持ってられる方は、府中に沢山いるわけだから、それが活かされてない訳ですよ。そういう人達が活かして使えるような事をまず考える方が早いのではないか。同じファシリテーター養成したからって、一年・二年でファシリテーター出来上がってこない。そういう人達にお願いして、こういう仕事があるというような事を見せないと、多分何をやるのか分からない。養成をしている段階で誰もやってない。何をやるのですかって話だけが出てくるわけなので、答えを多分何もやっていないので、しどろもどろ。そうではなくて、資格をもった人が、実際それに近いような仕事を与えてして見せた方が分かりやすいのではないか。そうしないと、養成したって集まらないと思う。いちばん問題なのは、生涯学習サポーターを利用しないと、名前を登録されているだけでほとんどが、利用されてない。
- 活用自体が聞かないと分からない。
- 今一番需要が多いのは、各小中学校でやっているPTA家庭教育学級で、講師を紹介している。小中学校ごとのPTAで講師の先生を呼んで、何か家庭教育をやってもらおうというのですが講師がなかなか探せないなので、サポーターから結構探している。
- リーダーバンクの中から探すのか。
- ➡ はい。そういう場合が多い。
- 何人位いるのか。
- ➡ 60人位。今まで出しっぱなしで、冊子をつくって勝手にやってもらっていたが、それでは利用状況などが見えてこなかったなので、今回からは市を通すように変えた。

- P T A関係以外で、サポーターが活躍している分野があるのか。
- ➡ ご相談を受けているところは、何か所かあるが、話をしてみて、少し趣旨とやりたいことが違うのでお断りするのが多い。やっぱり60人全部が同じ種目ではなく、依頼がくるのは決まった種目なので難しい。
- 有料の方もいるのか。
- ➡ 基本は、原則無料ですが、ただ若干頂いても良い。2、3千円位、交通費程度もらう場合もある。
- そうやって伺ってくると、府中市内には我々が理想として今考えているファシリテーター的なことをやっている人が必ずいらっしゃるのですね。
- 私は、意識しないでファシリテーターをやっている方がいっぱい居ると思うが、改めて、ファシリテーターになると非常にその定義が難しくなってしまうし、サポーターと同じ様にどう使ってよいのか、という部分が難しいと思う。上手く使えるシステムを構築していかないといけない。
- そういふのが見えないと、講習を受ける人も来てくれないと思う。そこからですよ、出発するのは。講習やるのは、いくらやっても良いですよ。だけど本当に育てたい人間が本当に育つかということを考えないと、一生懸命お金使ってやったけども、登録しただけという話だけで。捨て金になる。それでは、何の為にそこへ投資するのかという話になってくる。そういう事もやっぱり考えていく為には、今まで資格を持っている方、これに近いような仕事をやってこられた方で、それでは、やってあげようという人を持ってきて、出来るだけ色々な事をやって頂くということで、こういうことをやるのだと分かるようにしていかないと、難しいかなと思う。
- ➡ ファシリテーターのモデル。Aさん、Bさん、Cさんのような。
- 生涯学習だから、すごい分野があるので、こういうことができるなら、私もやってみたいと思う人が、講習を受けて頂きたいと思う。
- 社会教育主事の資格を持っている方にファシリテーター講座を受けて頂くということか。
- いいえ。それではなくても、受けなくても、そういう事が色々な事が出来る。せっかくその資格を持っていても、今は、府中市の中では、活かせる場所が無い。その方々に活かせる場所を提供して、こういう事をやるというお手本を見せられませんか。そういうシステムを作り上げる事は、考えなくても良いのか。
- 例えば、講座に毎回8回出た方には、簡単な卒業賞状を出して、それまでやってこられた方は、市長の名前を入った賞状を1枚差し上げる。みなさんの前で御苦労様でしたとそれから交渉ですが、お金がかからない。生きがいにも通じるものですし、そればっかりだと、いんちきくさくなりますけど、今市民大学でも卒業賞状を

渡しますからね。8回も土曜日午前中いらした方 やっぱりそれなりの卒業賞状を与えたらどうですか。もし、明治大学に一括頼まれるのでしたら、明治大学・社会教育〇〇講座卒業。それはそれでひとつ生きがいになると思う。

- そういうような、与えることを考えてやるような事をしないと、なかなか難しいのではないかと。
- 重要な事ですよ。そしたらまた来年やろうって事になる、次にやろうって事になれるのです。
- 最終的には、ボランティアでやらなくてはいけないのでは。基本的には、お金の話は出てこないはずですよ。
- 現実問題に、社会教育主事あるいは指導員の方でやりたいという方がいたとして、その人達を迎えて人材として活用出来るのは、今現在、生涯学習センターでやっている事になるのか。何処に派遣するのか。
- 沢山の受け皿があるのではないかと。それこそ、学校放課後とか。
- 例えば、学習センターでボランティアやっていたって、色んな事をやっている。色んなグループがあるわけですよ、全然違う所でやっているわけだから、こういうのは、こういうやり方が良いとか、色んな情報をもらえればもっと良くなる。色んな所で活躍できる場所があると思う。
- ただそこまでを考えに入れて、講座を持って欲しい。
- 府中市の生涯学習センターは、市内の11ある文化センターでやることよりも、少し高度なところに 目的を持ってもらうようにして欲しい。そこから、各センターに同じ様にやって頂くと、そういうファシリテーターは、最初は、とにかく生涯学習センターを活躍の場所として決めてあげたらどうか。ただ今現在に生涯学習センターで色んなグループが既に活動していて、その中によそ者が入ってきて困るといふ所もあるのではないかと。
- それは、無いと思う。また新しい事を、やりたいという人がいれば、そういうグループを作っていけば良い。ただどういう事がやれる人が来て頂けるかによって、別に既存のものに何もこだわる必要は無いと思う。既存のものにこだわって気まずい思いでやってもらうよりも人数は少ないけども、3人ぐらいから始めてもできないわけじゃない。多少これまでやっているよりスピードが遅いだけの話で。前向きで考えていけば、新しいグループを作ってもおかしくはない。
- 私は二度ほど審議会を休んでいたものですから、その間にそういう議論が出たかもしれませんが、例えば、生涯学習センターでやる催し物の中にNHK学園とか、朝日新聞のカルチャーセンターでやっている様な事は、やってはいけないとかやっても良いとか議論は出たか。

- それは出ていない。HNK学園の先生が来て講座やっていますから、別にNHKが来たらいけないとか。
- いけないとかではなく、ようするにそのNHKとか朝日カルチャーセンターと同じ内容でもかまわないのか。
- それは、事務局方に伺った方がよいのでは。
- ➔ いけないって事はない。
- それは、やり方は、色々あって市民が提案する自主講座っていうものあるし、何講座かは、毎年やっている。最近では、講座企画という部分があるが、そこの人達が講師を探してきて、いくつかやって良いという枠がある。そういうところで、活躍していた先生を呼ぶとかは自由です。市の事業としてやるから、市が払える報酬しか払えない。
- そういう講座を担当する人が、ファシリテーターではなくて、そういう講座を企画する人をファシリテーターというのか。
- 一種のコーディネーターです。我々とかそういう仕事をやっている。自分達が講座をしようとか、中には会員の中から私が講座をするという先生がいる。みなさんが良ければ、その人がおやりになるし、自分達が探してきて、この先生とこの先生を組合せして、こういう講座・シリーズ講座をやりたいとか、いうことが自由に出来るので、ある範囲以内で、全部が全部出来るわけじゃないが。ある範囲以内でもやる。それで、例えば今度、指定管理者になったりもっと自由度がこっちになったりする。
- 今おっしゃっていることは、生涯学習センターの中のボランティアでやっているのか。
- ボランティアでやっている。企画運営もあるし、市がやっている事業に対して、お手伝いをやっている。支援作業。
- 今我々が議論している生涯学習センターのファシリテーターを実際には既にやられているという受け止め方でよいのか。
- 僕は、別にファシリテーターのつもりでというのは、こういう言葉もあるのかなとつい最近に知った。我々がやっている事とあまり変わらないことをやっているのかなと思う。
- ですから、色々な所に組織が広がっていけば良い。
- 我々の講座で例えば色々な事を考えているのは、今完全な市のボランティアだが、社会教育団体に登録をして、自主的な活動もできるようにしていきたい。ここ何年かすれば、指定管理者制度が導入されると思うが、その時に私達が今までやってき事が全部失われてしまうのでは困る。せっかくここまで何年か掛けて色々な事をや

ってきたので、ここは、僕らの後を継いでいく人達に残してあげないといけない。その内こっちが動けなくなると、全部無くなってしまうと困る。

- 今おっしゃった事は、重要な事だと思う。今やっておられる方が、新しい制度の導入を全部嫌がられると、市自体が生きていけないですよ。
- その時に我々としては、市からも、指定管理をする企業なり団体なりからも信用されないといけない。
- 悠学の会の中にも研修というものがあまり無いですよ。それとプラスαで、講座を組んでもらえれば、出来ると良いのですかね。
- 今期待しているのは、ファシリテーターの養成講座とか、明治大学と共同で色々な事をやることになっているから、積極的に我々も毎年ある程度のスキルアップと称して色々な事をやっているが、それだけで十分とは言えない。答申にあったようにファシリテーターを養成しなくてはいけない。最初の講座なので、それを受けてまず勉強する事から始めたら良いのではないか。良く考えてみたら、我々がやっている事と同じではないかということでもあっても良い。その事を受けた人が、俺のやっている事は、間違っていないかという確認にもなる。
- 前向きに捉えているので、ありがたい。先ほどから出ていた、組織的構成を持って、何か何処かでその機関が機能出来るような、何かそういったものがどこか中心でおかれると、一番機能するのではないかと思う。
- 生涯学習の一環ですけど、あんまり縦社会で揉めたくないが、今言ったファシリテーターという教育方針の中で、何とか審議会とか委員会など、そういう物があつた方が動きやすいのではないか。そういう面では、組織にしておいて、そこから色々なかたちで発展していくというのが、動きやすいのではないか。
- それは、一つの考え方ですね。
- 今日、発している言葉は、決定のものでもないですから、存分に思っている事を言っていたきたい。
- 現状の生涯学習の様々な活動については、まだ不満があるというか、もっと活性化してもっと沢山の市民の人が参加したり、するようになりたいし、そうなるだろうと思っているのか。それとも府中市は、やっぱり他市の状況含めて、これだけ相当実数をやってきている訳だが、20年も30年もずっとやってきている訳だが、このぐらいが状況としては、良いのかどうか。これで満足していながら、なお継続していくというスタンスで考えているのかによって、状況が違ってくると思う。

地域のファシリテーターという言い方だとすると、文化センターを中心とした地域の様々な交流や地域活動について、もう少しやっぱり活性化していくというか、もうちょっと地域の人達と密度が濃くなる様な状況作りをしたい。そのリーダーと

いか担い手になる人達を養成し、活躍する場を設けてもらって、プラスαを今求めている流れだと思うが、そのこの数字を見せてもらおうと、やっぱり相当数、頑張ってきていると思う。それになおプラスαしていく力というか、企画とか人材とかどの程度を見通してもてるのかなと気にはなる。

つまり現状認識として、これは府中市として相当やっているということ、みなさんがたくさん関わっているという捉え方を今まで長所として、その積み上げた実績というかその辺をどの程度捉えながら、なおかつ活性化する様な思いで、きているから、そういう見通しを我々としてどう把握したら良いか気になる。進めてきた過程が。

■ そうですね。その部分とあと行政は別として、自分達が地域で何を感じて何をどうして欲しいかそういった部分をプラスして考えて、行政のものだけでなく、自分達の意味で何かこうものを見ていかなければいけないのかなっていう部分を感じてはいる。

■ 流れの中で、コミ協の記録を見せてもらおうと、例えば夏の盆踊りなんかもそうだが、これは交流ですよ。それから防災訓練みたいなもの、つまり安全だとか安心だとか関わる様なやり方も各文化センター中心にして企画している。それは、地域の安全だとか安心だとかいくつかあると思う。事業ですね。何を大事にしたいのか、そういう大事にしたいとか地域特性もあるとしても全体としては、府中市としてコミュニティーの中で地域の人達と活躍をして、ファシリテーターとして活動して欲しい内容や目的のようなものが重点として備わっていない部分があるのかなと思う。プラスそれ以外に色んな事を重点として、やってもらいたいという思いが事務局の方で持っているのか。市で上の方でも聞きたいところもある。それと繋がるようなファシリテーターの役割のような事があるので、先ほど言われた様な目的をちゃんと持って、どういう場を用意してやっていくから、ぜひ参加してくれとか、そんな話になっていくのではないかと思う。

■ それに追い打ちをかける様で申し訳ないが、もしかして、市の方がこの近辺の市と自分達の町を比べて色々手配を掛け合っているのか。

➡ 掛け合っていないと思う。

➡ 結局、府中市は、平和島競艇の収入が沢山あった関係で豊かだった。今と比べると凄く豊かな時期が続いて、様々な施設が作られた。多分文化センターなんか昭和45、6年から始まったと思うが、それに見合う体制というか、施設であればそこは、最初は、稼働率を上げようというものがあって、色んな講座をやった。それを自主グループでやって、各文化センターの情報で良いものがあれば、直ぐに見に行

ったし、今は満杯状態になっているので、新しい講座を開催し、そこから自主グループにしてくという事は、場所もないので難しい。

先ほど指摘があったように、府中市は、かなりやっていると実際に事業的にも既設活動してやっている。ただあれは、実質参加している人達は、同じような人達が参加している様にみえる。それは、それぞれ自治体に参加している人は、他の組織に誘われているとか、その輪を広げていこうとか、現役の人達ですけれども勤めている方とかをどうのようにして、地域の事業に参加して頂こうかというなかなか一番解決策がないというか、本当に難しくても今でも色んな部署で、色々やっている。

後は、例えばボランティアで社会福祉協議会なんかが、ボランティア養成講座なんていうのをやっている。さっき言っていたように、卒業証書をみたいな物を出して、活躍の場を提供するのを活かして、せっかく技術的な物を身に付けたのに何処で発揮して良いか確かに、よく言われてきましたけど、そういう場を作るのは、行政のひとつの役割だと思って、一番難しいと思う。具体的な形を示して参加する人も、卒業したらどの様な形になってゆくのか、受ける前に想像出来るような形を作っていくのが大切ではないかと思う。まずそれをずっと何十年と取り組んできた経緯もあるので、実際に難しいところでもある。地域の担い手だけで今後の事だけで済んでしまう事もありますし、これから、皆さんのアドバイスを頂きながら、講座ひとつにしても、身のあるものにしていかなくては、色々アドバイスとチェックして頂きたいなと思う。

- ありがとうございます。もっともっとお聞きになりたいこともあるが、4時でお時間になったので、今のお話しを受けながら、また7月にちょっと話を広げていきたいと思うので、7月に向けて宜しくお願い致します。

7 その他

次回審議会について

第4回：7月26日（月）午後2時～4時

生涯学習センター 1階会議室